

講義科目名称：学校の制度

授業コード：

授業科目の区分等：教職科目 教育の基礎的理解に関する科目

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	2 年	2	選択
担当教員			
松嶋 哲哉			
C (商学部)	T (教職科目)	ED (教育)	

授業のねらい (概要)	【授業テーマ】 教育の制度的考察を通じた教育観の構築 【本授業のねらい】 本授業のねらいは、現代の学校教育に関する社会的・制度的又は経営的事項について、基礎的な知識を身に付けるとともに、それらに関連する課題を理解し、学校と地域との連携に関する理解及び学校安全への対応に関する基礎的知識も身に付けることである。
授業計画	第1回 授業の概要と目標・進め方・シラバス説明・成績評価の方法 予習 (時間) : シラバスの熟読 (30) 復習 (時間) : 本科目の内容確認・リアクションペーパー記入 (30) 第2回 近代公教育制度の成立と構成原理 予習 (時間) : 教科書第1・2章を熟読 (120) 復習 (時間) : 学習内容をまとめる・リアクションペーパー記入 (120) 第3回 近代日本の学校制度の展開 予習 (時間) : 教科書第3章を熟読 (120) 復習 (時間) : 学習内容をまとめる・リアクションペーパー記入 (120) 第4回 戦後日本の学校制度の展開 予習 (時間) : 教科書第4章を熟読 (120) 復習 (時間) : 学習内容をまとめる・リアクションペーパー記入 (120) 第5回 現代社会の学校教育と学校制度の課題－1980年代以降 予習 (時間) : 教科書第5章を熟読 (120) 復習 (時間) : 学習内容をまとめる・リアクションペーパー記入 (120) 第6回 学校教育を支える教育法制と教育課程行政 予習 (時間) : 教科書第11章を熟読 (120) 復習 (時間) : 学習内容をまとめる・リアクションペーパー記入 (120) 第7回 中央の教育行政との組織と運営 予習 (時間) : 教科書第6章を熟読 (120) 復習 (時間) : 学習内容をまとめる・リアクションペーパー記入 (120) 第8回 地方の教育行政との組織と運営／学校組織と学校経営 予習 (時間) : 教科書第7章を熟読 (120) 復習 (時間) : 学習内容をまとめる・リアクションペーパー記入 (120) 第9回 学校経営の理論的展開 予習 (時間) : 教科書第8章を熟読 (120) 復習 (時間) : 学習内容をまとめる・リアクションペーパー記入 (120) 第10回 学校指導組織と学級経営と外部との連携 予習 (時間) : 教科書第9章を熟読 (120) 復習 (時間) : 学習内容をまとめる・リアクションペーパー記入 (120) 第11回 学校経営の今日的課題・PDCAの重要性 予習 (時間) : 配布プリントを熟読 (120) 復習 (時間) : 学習内容をまとめる・リアクションペーパー記入 (120) 第12回 学校と生徒／就学・入学・卒業など、懲戒と体罰の禁止、学校保健 予習 (時間) : 教科書第10章を熟読 (120) 復習 (時間) : 学習内容をまとめる・リアクションペーパー記入 (120)

	第13回 学校の危機管理と法律問題／学校安全・学校事故への対応 予習（時間）：配布プリントを熟読（120） 復習（時間）：学習内容をまとめる・リアクションペーパー記入（120） 第14回 学校と地域コミュニティと学校経営／外国籍生徒・ソーシャルキャピタル 予習（時間）：教科書第12章を熟読（120） 復習（時間）：学習内容をまとめる・リアクションペーパー記入（120） 第15回 学校評価と説明責任 予習（時間）：配布プリントを熟読（120） 復習（時間）：学習内容をまとめる（120）
授業を通して身に付けることができる能力（DP）	本授業では、学生による主体的な学習を通じて、①情報の収集、分析を行い、進んで課題解決に臨む姿勢を身に付け、②教育に関する専門的分野の学びを、実務や社会で応用できる能力を身に付けることを目指す。
到達目標	（１）学校の役割と機能、（２）近代公教育制度、学校の制度、（３）教育法制と学校、（４）国及び地方の教育行政と学校、（５）学校の組織と運営、（６）学校と地域・家庭それぞれについて理解し、概要及び要点を説明できる。（７）学校安全のあり方について自分なりの考えを持つことができる。
課題や小テスト等のフィードバックの方法	課題や小テストについては授業内でフィードバックを行う。
履修上の注意	授業履修者数を参考にしながら、講義形式・グループ学習形式・ゼミ形式の授業を適宜行う。
成績評価の方法・基準	最終レポート(定期試験として)60%、中間レポート課題30%、学修意欲10%で評価する。
教科書	教科書は特に指定しない。参考文献などは授業毎に示す。基礎的な参考文献は、「参考書」欄に示した通りである。 なお、教科書ではないが、「教育法六法」の最新版を各自で用意すること（詳細は、初回の授業で示す）。
参考書・教材	【参考書】文部科学省（2018）『高等学校学習指導要領』（文部科学省HPから最新版をダウンロード） 高橋陽一（2018）『新しい教育通議』武蔵野美術大学出版局 水原克敏他（2018）『新訂 学習指導要領は国民形成の設計書—その能力観と人間像の歴史的変遷』東北大学出版会 吉田武男監修（2018）『教育の法と制度』ミネルヴァ書房 藤田祐介他（2015）『学校の制度を学ぶ』文化書房博文社 【教材】授業毎にレジュメを配布するため、当該科目の独自ファイルを作成すること。
備考	講義科目
教員との連絡方法	授業初回に、連絡先を示す。